

会 議 録

会議の名称	平成27年度 第1回西東京市健康づくり推進協議会
開催日時	平成27年10月28日（水） 午後1時30分から
開催場所	田無庁舎3階 庁議室
出席者	石田会長、中澤副会長、永田委員、浅野委員、井出委員、桑原委員、池田委員、本田委員、前田委員、横山委員、谷戸委員、保谷委員
議 題	（報告）西東京市健康づくり推進プランに関する進捗報告
会議資料の名称	資料1 西東京市健康づくり推進協議会委員名簿 資料2 西東京市健康づくり推進協議会条例 資料3 西東京市第2次健康づくり推進プラン達成度評価指標経過報告 資料4 健康づくり推進プラン・食育推進計画（策定年次比較）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会 議 内 容

- 1 **開会** 開催挨拶（健康課長）、市長挨拶
事務局より欠席者の連絡、自己紹介、
- 2 **委員の委嘱** 委嘱状の交付
- 3 **正副会長の互選** 会長石田委員、副会長保谷委員を選出、正副会長挨拶
- 4 **協議会の運営について** 説明（健康課長）、資料確認
- 5 **報告**
西東京市健康づくり推進プランに関する進捗報告
事務局から資料3の報告・説明
 - 委員
各データの基準の年について意見。基準の年の根拠について質問
 - 事務局
死亡者数のデータについて説明。策定したときの最新のデータを使用。死亡者数のデータは後追いになる。策定年次において取れるデータにタイムラグがある。策定時の最新のものを示した。
 - 委員
小学校1年生のスポーツについて質問。どのようなスポーツに対してのデータか。一般的な遊びは含まれるのか。
 - 事務局
教育委員会の調査のため手持ち資料なく不明
 - 委員
食と栄養について質問。毎年4年生のデータを取っている。平成24年度の西東京市男子がものすごく割合が高くなってしまっている。この年代をずっと追っていないと

意味がないのでは。

●事務局

それぞれの年次によって特色があるのが事実。特定の年代を追いその年代の数字を引き続き中学校1年生まで見ることは大変参考になる。次の機会では保健所のデータを活用し見ていきたい。

●会長

総合目標の達成状況がよくない、プランが有効に活用されていないと指摘。達成されなかったところの具体的な分析が必要であり検討を望む。また、がん検診について、がんによる死亡率は年齢調整死亡率ではなく、本当の死亡率を用いて整合性を図ることを提案。年齢調整死亡率はあまり使っていないものと指摘。実際の死亡率が減少するかどうかが大変重要である。実際の死亡率でがん検診の有効性を検証したい。

●委員

同意見である。例として、がん検診の受診率と組み合わせて死亡率を見るなどすることが必要

●会長

がんによる死亡率とがん検診の関係について、がん検診の意味について疑問を指摘

●事務局

次の見直しの際に新たな視点の指標を取り入れたい。

●会長

世界的な統計では、死亡率の減少によりがん検診の有効性を見る。同様にしよう検討を望む。

事務局から資料4の説明

●会長

総合目標の元気高齢者の割合について質問。要介護者以外の割合か。介護保険の認定を申請する人が多くなったということは管理されているということであり良いことである。介護保険を利用する者が増加しその率が増えるため元気高齢者の率が減少する。実際の元気高齢者の割合について疑問であり分析を望む。

●事務局

指標としてより良いものについての提案や意見を願います。

●会長

65歳健康寿命について質問。アンケートによるのか。

●事務局

東京都の保健所による算出方式を使用。健康寿命と平均寿命とは違う視点で、65歳の人の介護の段階、要介護の認定になる平均の数字である。

●会長

当初より介護申請の人数増加のため下がっている可能性が考えられる。

●事務局

65歳の方がなんらかの障害のために要介護認定を受ける年齢を平均化したものが、65歳健康寿命である。

●会長

要介護認定となる者が増加している近年では本当の健康寿命か疑問である。

●事務局

健康寿命と平均寿命があり、健康寿命は国の調査により算式される。西東京市だけの調査はない。65歳健康寿命の数値は出せるが、一般に使われる健康寿命は物理的には出ない。最近では平均寿命と健康寿命を縮めることが望まれている。

- 会長
基準となる数字を厳選することが必要
- 委員（市民）
要支援が元気高齢者に入るか質問
- 事務局
元気高齢者に入る。
- 委員
糖尿病の治療に関わる薬剤を服用している者の割合について質問。糖尿病の有病者の内服率か、市内で薬量の増加か。
- 事務局
特定健診の受診者の問診票の回答中「糖尿病の服薬している」欄のチェックをつけた者の割合である。
- 委員
議題・課題としての要望。市内での糖尿病の薬の増減は判断とならない。服薬すべき者の服薬の率が上がることは良いことである。目標について検討をお願いする。
- 会長
歯科についてはどうか。
- 委員
資料のデータの対外的な公表の有無について質問
- 事務局
市民にはわかりやすいもので示す予定。誤解を招くという表現があれば指摘をお願いする。目標は市民に分かりやすく西東京市の方向性を示したい。適当な数値等について提案をお願いしたい。
- 委員
平成23年度妊婦歯科健診の重度歯周病者の割合の割合を示していることについて、誤解を招く可能性が窺える。
- 委員
17ページ3歳児健診について意見。健診受診者数、受診していない者の人数の標記を希望。全体の傾向を示す。妊婦歯科健診、歯周疾患検診についても同様。歯周疾患検診は節目検診のため年齢ごとに示すことを希望
- 委員
健康づくり推進プランの周知がなされていない。冊子の医療関係者への配布を希望
- 会長
周知が不十分である。市民の行動目標もあるが、周知されていないので実際に機能していない。生活習慣病に関わる食生活や運動についての市民の行動を把握してその内容を検討することが望ましい。
- 委員（市民）
スポーツジムを運営しているが健康づくり推進プランは知らなかった。民間と行政のつながりが希薄であると感じた。民間同士のつながりも同様なので、民間のスポーツクラブも協働してやっていきたい。転倒予防のボランティアについて包括支援センターから依頼がある。有効なデータの収集ができると感じた。有効なデータについても行政と伴に考えたい。子どものダンスやバレエのクラスもあり、子どもの体力不足が危惧されるが必要な対策を考えたい。
- 委員（市民）
脳年齢ではウォーキングの他、土いじり、草むしり等が効果的と聞く。低コストでできる。

●会長

ウォーキングは手軽である。ウォーキングの効果を周知する必要がある。

●事務局

今後ご意見を願います。

閉会